

## 雛人形 展示について

展示期間:2015年2月18日(水)~3月6日(金)

場所:2号館1階 学修支援センター



宇野センター長のご自宅の倉庫に眠っていたという雛人形を、ご無理を言ってお借りし、30年ぶりに外の空気を吸ってもらうことになりました。

### □準備

棚を組み立てたり、人形の配置を確認したり、小道具を添えたり、なかなかと大変な作業です。これは作業した人でないと分からない苦労かもしれません。白百合のみなさんが、学校生活を健やかに過ごし、勉学に励むことができるよう祈りながら準備をしました。



飾り付けをしながら、Sr.青山から、お雛様の思い出話をうかがいました。子どもの頃、自宅には7段のお雛様があったこと。一緒に飾られていたひなあられを食べては怒られたこと。大東亜戦争後にはその人形を進駐軍への物資援助のお礼として教会を通してお譲りしてしまったこと。などなど、一緒に作業したからこそ聞けた、貴重なお話でした。

### □展示期間中

教職員の方々が2号館へ来たついでに覗いていかれたり、学生さんたちも写真をとったり、たくさんの方に興味を持っていただくことができました。とある職員の方からは桃の花もいただきました。学生もひなあられをお供えしてくれて、日々賑やかに華やかになっていくようでした。しかし、3日を過ぎると、いつ片付けるのかを、皆様から心配され始めました。展示期間が少し延びたことで今後影響が出るかもしれない方々には、「ごめんなさい」とお伝えしておきます。



### □片付け

出すのも大変ですが、しまうのはもっと大変だということが分かりました。人形のお顔は汚れないようひとつひとつ和紙などで巻きます。箱から出られて心なしか喜んで見えたお雛様たちですが、30年ぶりの現代はどうだったのでしょうか？夜、誰もいないセンターで語り合っていたのではないかなどと想像をふくらませてしまいます。感想を聞いてみたいものです。

飾ることを快諾いただいた宇野先生には、大変感謝しております。ありがとうございました！